

[5] キャリアとの接続

①自分の将来に向けて、今考えていること(必要となる資質・能力)

将来、解決したい(解決に貢献したい)と考えていること(社会的・学問的課題)	将来、自分が就きたい職業・仕事	☆解決に向けた取り組みや、職業・仕事で必要となるスキル・能力、見方・考え方
解決に向けて、あなた自身は、具体的に何をどのようにしたいのか。どのように取り組みたいのか(一般論だけでなく、自身の経験に基づいた解決方法にする)。		

②そのように考えるようになったきっかけ

興味を持った時期・年代	①につながる原体験([3]参照)
その後、取り組んだこと。取り組んで気づいたこと、考えるようになったこと。	

③現状の把握

①の課題は、現在どのように取り組まれているか。どのような状況にあるのか(できていること、できていないこと)。	①の課題は、5~10年後、どのようになっていると考えられるか(社会がどのように変化しているかも想定する)。
5~10年後に求められるスキル・能力	

④本校での学び

探究活動で取り組んだテーマと内容	授業や学校行事・部活動等で力を入れたこと	
探究活動で身につけたスキル・能力、見方・考え方。	授業で身につけたスキル・能力、見方・考え方。	学校行事・部活動で身につけたスキル・能力、見方・考え方。
現在、自分が抱えている課題と、解決に向けて取り組んでいること(あれば)		

⑤今後取り組みたいこと

①の「解決に向けた取り組み」の実現に向けて、あなたは何をどのように学び、取り組んでいきたいですか。
①と③から、必要なスキル・能力、ものの見方・考え方を挙げて、身につけたもの(④参照)を丸で囲もう。
現在、身につけていないスキル・能力、ものの見方・考え方をどのように身につけていきたいですか
現在、希望している進路(学問系統や学部・学科など)

○本校のSSHプログラムを通じて育成する資質・能力は、「科学的素養」と呼び、以下の5つで定義しています。

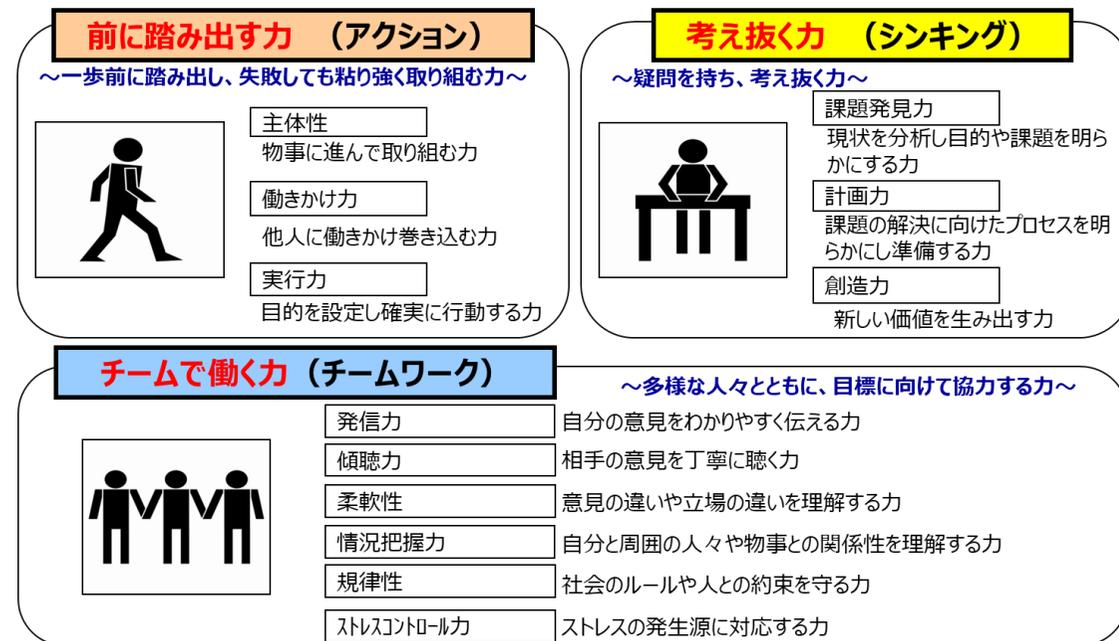
- (a)自然や科学技術に対する興味・関心
- (b)科学的知識に基づいて課題を発見する力
- (c)情報収集力・データ分析力や観察・実験の技能
- (d)科学的根拠に基づいて課題を解決する力
- (e)コミュニケーション能力（プレゼンテーション能力・ディスカッション能力）

○社会に出て求められるスキル、資質・能力はさまざまあります。皆さんの就きたい職業等によっても変わるので、それぞれ調べてください。

(例)「社会人基礎力」(経済産業省HPより)

今までの「社会人基礎力」とは

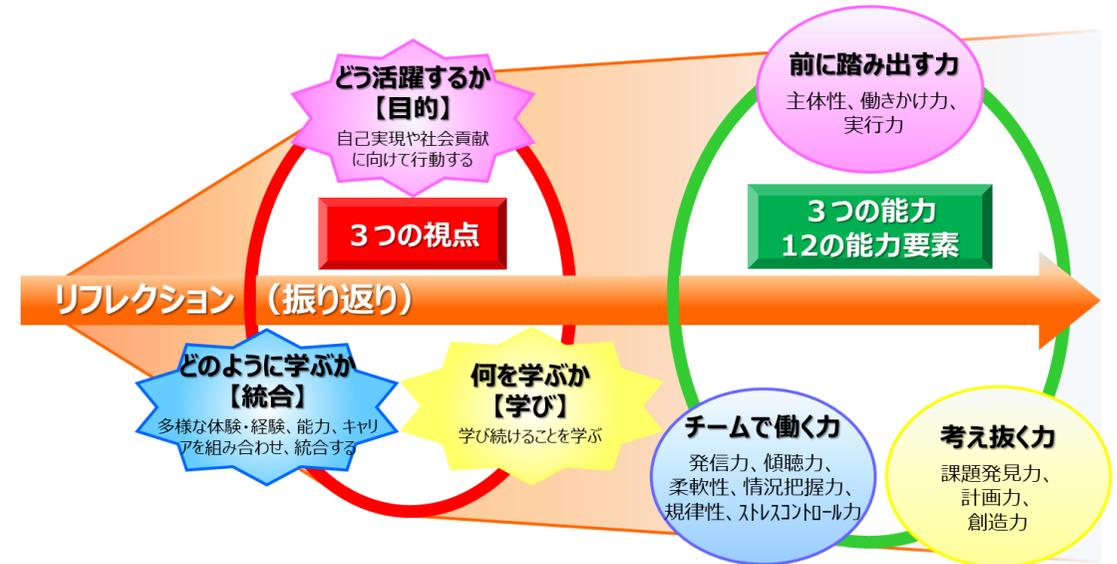
経済産業省が主催した有識者会議により、職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力を「社会人基礎力(=3つの能力・12の能力要素)」として定義。



2

「人生100年時代の社会人基礎力」とは

「人生100年時代の社会人基礎力」は、これまで以上に長くなる個人の企業・組織・社会との関わりの中で、ライフステージの各段階で活躍し続けるために求められる力と定義され、社会人基礎力の3つの能力/12の能力要素を内容としつつ、能力を発揮するにあたって、自己を認識してリフレクション(振り返り)しながら、目的、学び、統合のバランスを図ることが、自らキャリアを切りひらいていく上で必要と位置付けられる。



6